

**製品安全データシート**

会社名 アイエスピー・ジャパン株式会社  
 住所 東京都中央区新川1-6-1 アステール茅場町3F  
 電話番号 03-5566-8705 FAX 番号 03-5566-8682  
 作成 2001年 7月15日  
 改訂 2006年 1月23日

整理番号：

製品名 R A P I - C U R E C V E

物質の特定 単一製品・混合物の区別  
 : 単一製品  
 化学名 : シクロヘキシルビニルエーテル  
 含有量 : 100 %  
 化学式 : C<sub>8</sub>H<sub>14</sub>O  
 官報公示整理番号: 化審法・安衛法  
 : 化(3)-3687、安3-(4)-73  
 CAS No. : 2182-55-0  
 国連分類: クラス 3 国連番号: 1993  
 P R T R 法: 非該当  
 安衛法通知対象物質: 非該当

危険有害性の分類 分類の名称: 引火性液体  
 危険性 : 引火性の液体  
 有害性 : 皮膚及び眼に刺激性あり  
 環境影響 :

応急措置  
 眼に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗眼し、医師の手当を受ける。  
 皮膚に触れた場合 : 多量の水及び石鹼で洗い流す。  
 吸入した場合 : 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静にして速やかに医師の手当を受ける。  
 飲み込んだ場合 : 多量の水を飲ませた後、指を喉に差し込んで吐かせ、直ちに医師の手当を受ける。患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

火災時の措置  
 消火方法:  
 (1) 周辺火災の場合  
 速やかに容器を安全な場所に移す。  
 移動不可能な場合は容器及び周囲に散水し消火する。  
 (2) 着火した場合  
 火元への燃料源を断ち、消火剤を使用して消火する。  
 スプレー水で火災に曝露されている表面を冷やす。  
 消火作業は風上から行い、消火を行う人は場合によって呼吸保護具を着用する。  
 消火剤 : 噴霧水、泡(耐アルコール)、粉末、二酸化炭素



その他 : 強い臭

危険性情報 (安定性、反応性)

引火点 : 36.7 (セタ式)  
 発火点 : データなし  
 爆発範囲 : データなし  
 反応性 : 一般的な取扱い及び貯蔵においては安定である。  
 自己反応性 : 特になし  
 硝酸、硫酸及び強酸化剤と還元剤との接触は避ける。

可燃性の液体であり、蒸気は空気よりも重く、温度が高い場所では蒸発したガスが低所に滞留して爆発性混合ガスを作る可能性がある。

有害性情報 (1)

刺激性 : データなし  
 感作性 : データなし  
 急性毒性 : データなし  
 亜急性、慢性毒性 : データなし  
 発がん性 : データなし  
 変異原性 : データなし  
 催奇形性 : データなし  
 代謝・排泄 : データなし

環境影響情報

生分解性 : データなし  
 生態影響 : データなし

廃棄上の注意

- (1) 空容器であっても、内容物が残留していることがあるので取扱いには注意する。
- (2) 空の小型容器は栓を固く締め、空容器であることを表示し、引火の危険性のない場所に置く。
- (3) 容器を修理又は廃棄する場合は、液抜きした後、水洗又はスチーム洗浄を行い有機物を完全に除去した後に行う。
- (4) 廃液、高温排水、スラッジなどは、そのまま又は易燃性溶剤とともに、少量ずつ焼却炉に噴射して焼却処理するか、又は廃棄物処理免許を持つ処理業者に処理を委託する。  
 焼却処理の場合は、有害ガス( $\text{NO}_x$ ,  $\text{CO}_x$  等)が発生する恐れがあるので燃焼排ガスの処理対策を講ずる。

輸送上の注意

- (1) 車輛等によって運搬する場合、荷送人は運送人に運送注意書を交付するのが望ましい。
- (2) 輸送前に容器が密封されているか、又は液やガスの漏れがないかを確認する。
- (3) 容器の輸送及び運搬は、常にしっかりと固定した状態で行い、特に瓶及び缶は輸送中に互いに衝突して破損することのないようにあらかじめ適当な緩衝物を詰めていく。

主な適用法規

消防法 :  
 法別表 危険物第4類第2石油類 (非水溶性) (指定数量 1,000L)  
 危規則 : 高引火点引火性液体  
 労働安全衛生法 :

別表第1 危険物（引火性の物）

---

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、通常の手配を対象としたものであって、特別な手配をする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、手配には細心の注意が必要です。

ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定して下さいようお願い申し上げます。

---

参考文献

- 1) ISP TECHNOLOGIES INC. MATERIAL SAFETY DATA SHEET